

授業科目名: 実践英語コミュニケーションⅡ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 平岡麻里・本純佳 担当形態: 複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・英語コミュニケーション		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 英語で考えをまとめ、発表するスキルを磨こう! ・様々な話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や自らの考えを英語で整理できる。 ・様々な話題の英語を読んで、目的に応じて情報や自らの考えを英語で整理できる ・様々な話題について、自らの考えを英語で整理し、発表資料が作成できる。 ・様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて自らの考えを英語で話すこと[発表・やり取り]ができる。 ※英語教職課程必須科目のため英語教員を目指す上で十分な英語力(CEFR B1~)が履修開始時にあることが望ましいが、これ以下でも履修は可能である。ただし、英語力不足の場合は合格には相当の努力が必要となるため、英語基礎Reading & Writingや英語基礎Listening & Speaking など、他の英語科目で実力をつけてからの履修を推奨する。			
授業の概要 実践英語コミュニケーションⅡでは、実践英語コミュニケーションⅠで培った「聞く、読む、話す[やり取り・発表]、書く」能力のレベルアップを図るとともに、アクティブラーニングの手法も用いて、英語で考えをまとめて発表原稿を作成し、それをもとに発表し、他者とやり取りする能力を磨くための演習を行う。また、パワーポイントによるスライド作成、画像/音声データの取り扱い、LMSの使用など、ICTの利用も経験する。			
授業計画 第1回:オリエンテーション 第2回:英語プレゼンテーションの基礎(効果的なプレゼンの準備と実行の方法を学ぶ) 第3回:自己紹介で自分をアピールする(読む・聞く・書くを中心に) 第4回:自己紹介で自分をアピールする(発表・やり取りを中心に) 第5回:ニュースを世界に伝える(読む・聞く・書くを中心に) 第6回:ニュースを世界に伝える(発表・やり取りを中心に) 第7回:長期休暇の過ごし方を企画・提案する(読む・聞く・書くを中心に) 第8回:長期休暇の過ごし方を企画・提案する(発表・やり取りを中心に) 第9回:日本の魅力を世界に紹介する(読む・聞く・書くを中心に) 第10回:日本の魅力を世界に紹介する(発表・やり取りを中心に) 第11回:日本の社会問題を議論する(読む・聞く・書くを中心に) 第12回:日本の社会問題を議論する(発表・やり取りを中心に) 第13回:将来の計画について(読む・聞く・書くを中心に) 第14回:将来の計画について(発表・やり取りを中心に) 第15回:まとめ(学んだことを整理し、今後に活かせるよう自己課題を明らかにする) 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリングでは授業計画の第4回、第9回、第10回を中心に行い、すべての内容を包括的に取り上げる。			
テキスト 松岡昇、立野貴之、三宅ひろ子(2014)『Presentations to Go- DVD で学ぶ はじめてのプレゼンテーション』センテージ ラーニング、978-4863122642			
参考書・参考資料等 岩村圭南(2019)『改訂版 英語の正しい発音の仕方(リズム・イントネーション 編)』研究社、978-4327764913 高山芳樹(2019)『最強の英語発音ジム「通じる発音」と「聞き取れる耳」をモノにする』アルク、978-4757433212 大西泰斗、ポール・マクベイ(2011)『一億人の英文法』東進ブックス(ナガセ)、978-4890855278			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			